

■吉沢検校(2代) 盲人音楽家。箏曲の名手。三味線から箏曲を独立させ、名曲「千鳥の曲」を遺した。

よしざわけんぎょう
間宮海峡発見1808＝

初代の子に生まれる。

伊能測量終・1816＝8歳：失明。

杉田玄白没・1817＝9歳：

水野忠成老中1818＝10歳：地歌「屋島」に箏の手を付けるなど幼少より楽才秀で
群書類従完結1819＝11歳：百引勾当となり、

父のほか、中村検校寿一、その師の藤田勾当に師事。

父の勾当時代の古川姓を名乗る。

・・・・・・1826＝18歳：

さらに尾張浄心寺住職羽塚秋楽庵、およびその門下の岡村鍵太郎に雅楽を学び、津島神社の神官氷室長翁に国学ならびに和歌を学ぶ。また、秦松洲(寿太郎)、奥田亮斎らから漢学を学ぶ。

富嶽三十六景1831＝23歳：父が検校に登官。

高島砲術・・1834＝26歳：*初代(父)を取立師匠として検校に登官。

滑稽+人情本 1835＝27歳：

大塩平八郎乱1837＝29歳：

天保改革弾圧1842＝34歳：父の死去後、吉沢検校審一と名乗ったと思われる。

天保改革終・1844＝36歳：

阿部正弘首座1845＝37歳：

万次郎帰国・1852＝44歳：*尾張盲人支配頭となり、藩主祖祭に平曲を語る。

ペリー来航・1853＝45歳：

安政大地震・1855＝47歳：「花の縁」を作曲。*勾当時代に胡弓曲として作曲した「千鳥の曲」を箏曲として改曲、傑作となる。

このころから星野検校要一門下の福井検校運一らと反目し、「捨扇」を作曲、尾張を捨てて、

桜田門外変・1860＝52歳：

生麦事件・・1862＝54歳：以後は京に移住し、

職屋敷に勤めて、三老職にまで進み、

明治維新・・1868＝60歳：

廃藩置県・・1871＝63歳：

学問のすすめ1872＝64歳：京都で没した。

新形式の箏組歌古今組5曲、古今新組4曲を作曲。その他「新山姥」などの地歌・箏曲のほか、胡弓曲の作曲、三弦曲の箏・三弦替手の手付など、多数創作。